



幕末風説書留

弘化三至嘉永七年

服部文庫
イ 17
2189
1



弘化三年閏五月廿九日



一 昨午別送御中令... 二 船中見同申別頃下由漢口... 後
お役殿よりお申度あり... 江戸に在りて... 御座候... 相州に在りて... 御座候... 弘化三年閏五月廿九日
大久保加賀守

弘化三年

大久保加賀守

一 七月廿九日

古儀伺同... 申上... 弘化三年

弘化三年

弘化三年

一 弘化三年

一 昨午七方保固... 及通年... 弘化三年

弘化三年

此の頃其の船より数人救ふは此の海に大なる積の物ありては
 岸共に船地たる船より下りては其の船にありては
 多なるものありては其の船にありては
 神陽り此の海に大なる積の物ありては
 此の頃其の船より数人救ふは此の海に大なる積の物ありては
 岸共に船地たる船より下りては其の船にありては
 多なるものありては其の船にありては
 神陽り此の海に大なる積の物ありては

千石の船にありては

大久保國船也

此の頃其の船より数人救ふは此の海に大なる積の物ありては
 岸共に船地たる船より下りては其の船にありては

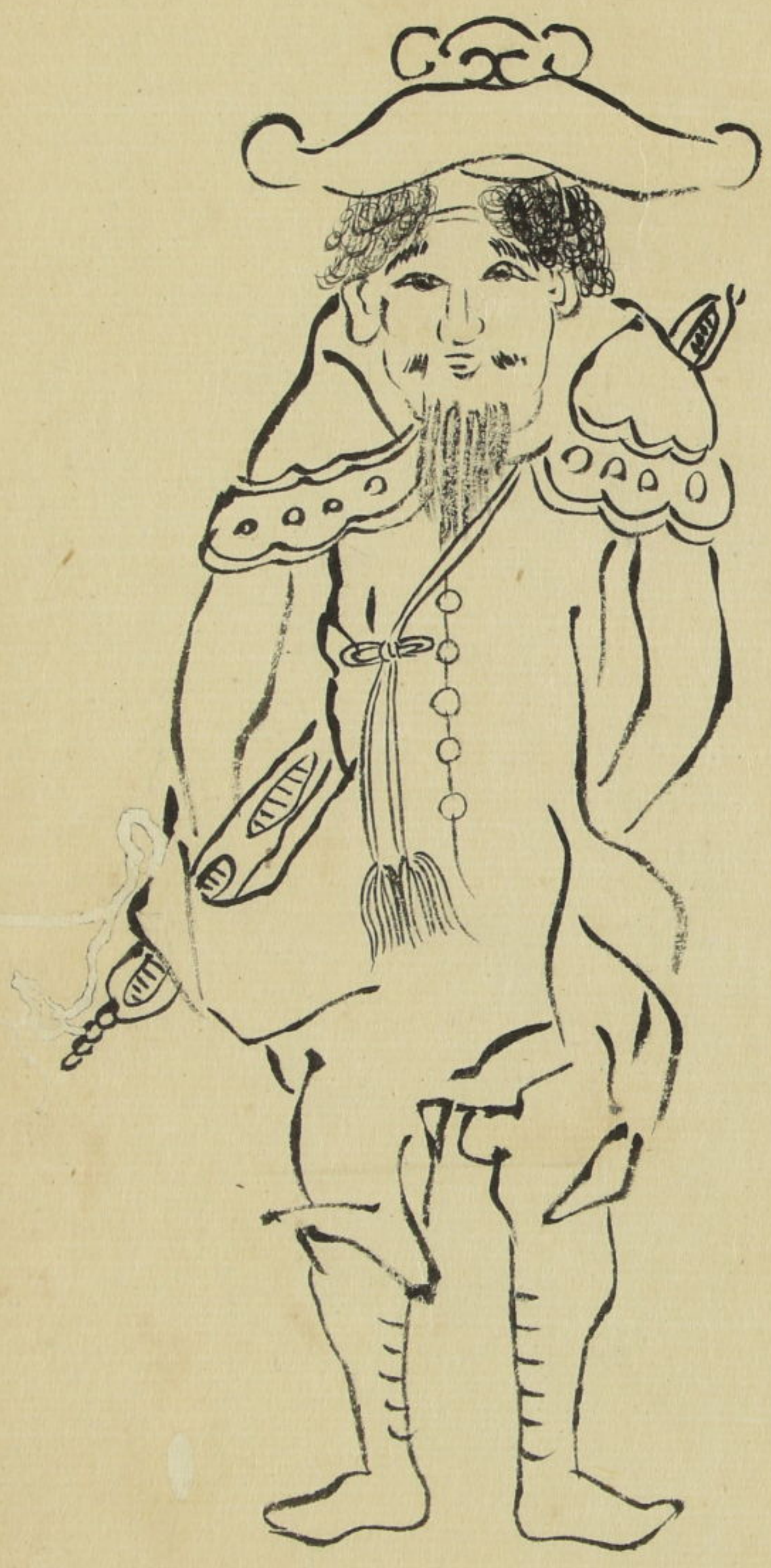
大百八拾陸
 百八拾陸

ハコトシ
 二千石船にありては

大百二拾陸
 百二拾陸

千石の船にありては

大将
 相見ト云



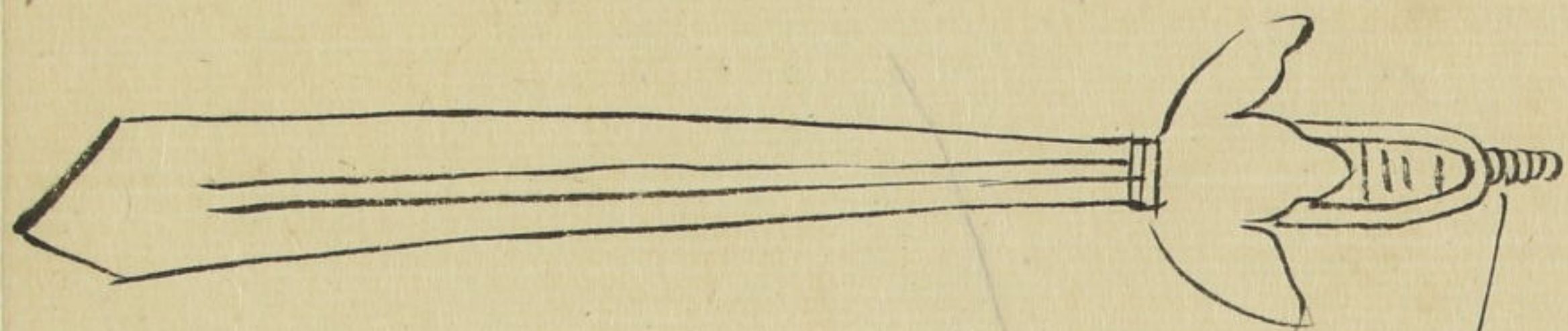
船頭



副將
和久人



大侍之類
隊金
甲
指



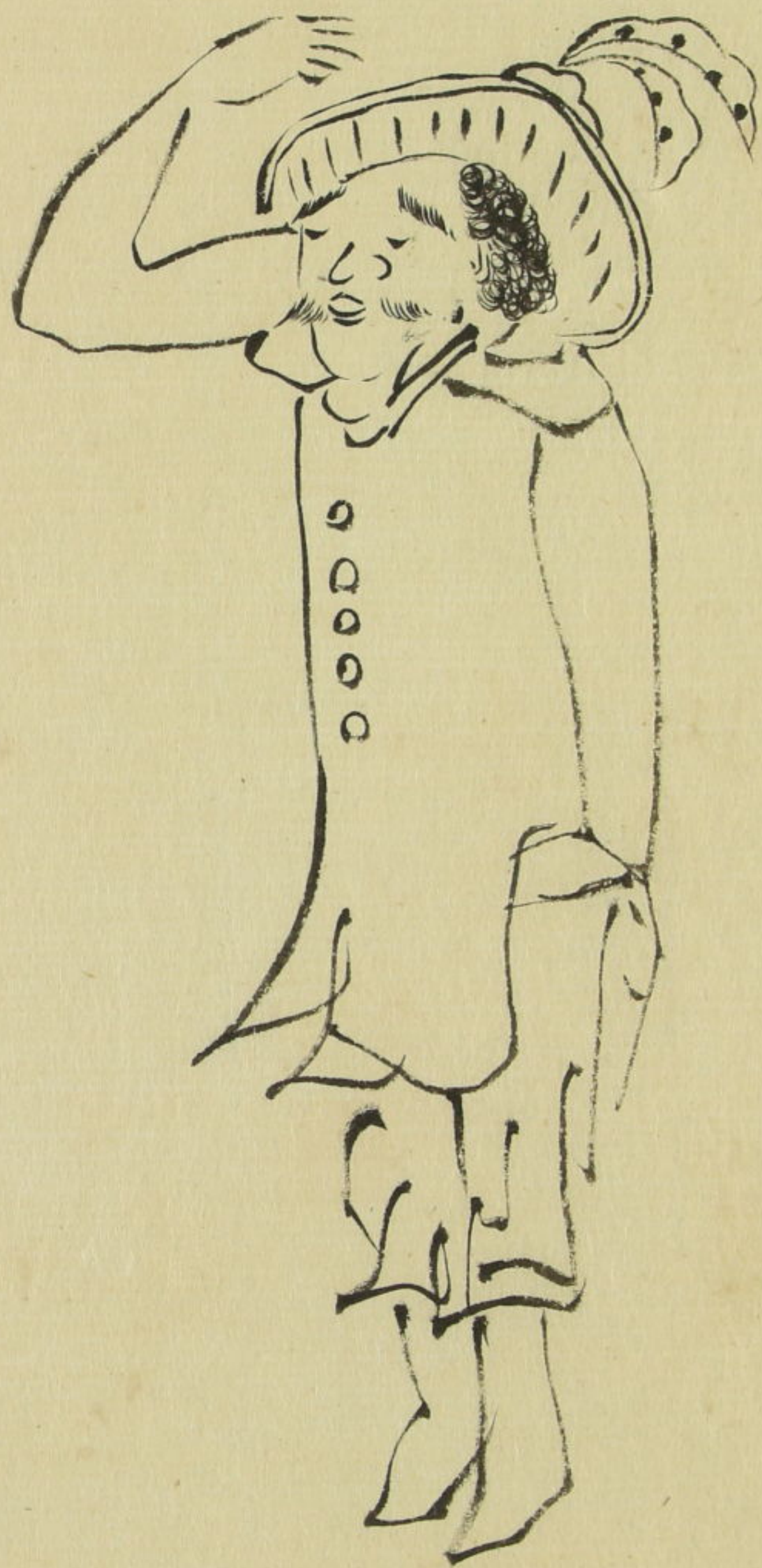
福
言
小
同
言
給
如
指
子



麻
下
布
之
指
可
心
給
太
可
三
尺
余



船方



くろくろ
海軍の死
腰を下と出
海軍の死



軍政篇抄
道光帝策問

二條 二牧

服部文庫

117

海峽新地
二部二款
軍政錄

聖武記附錄軍政篇抄

○紅夷之入寇與倭不同明史兵志言倭寇長於陸戰短於水鬪以船不敵而火器不備也紅夷則專長戰艦火器此異倭者一倭專剽掠沿海迹同流賊紅夷則皆富商大賈不屑剽掠而藉索埠頭通互市為名專以鴉片之烟耶蘇之教毒華民而耗銀幣此異倭者二紅夷之水戰與火攻強於倭鴉片之害甚於倭日本之深惡紅夷不與通市者防其鴉

部文庫

117

烟與邪教也紅夷之畏日本者畏其岸上陸戰也日本三十六島港汊紛歧其海口更多於中國其水戰火攻尚不如中國止以陸戰之悍守岸之嚴遂足驚英夷絕市舶而不敢過問又止以刑罰之斷號令之專遂足禁邪教斷鴉片而莫敢輕犯吾之水戰火攻不如紅夷猶可言也守岸禁烟并不如倭可乎不可乎不能以戰為款猶可言也并不能以守為款可乎不可乎令不行於海外之天賂猶

可言也今并不行於海內販烟吸烟之莠民可乎不可乎

道光二十二年春闈策問

○問曰今之夷狄異于古之夷狄何則履洋海如陸地万里之波濤來往不過旬日造船艦如城郭垂天之鵬翼搏扶搖羊角况火器精巧所向粉塵豈唯火焚崑岡而已哉當此時孫吳之畧無所復施賁育之勇無所復用堯舜禹湯文武周公孔子之說無所復曉江

南數百萬之人民痛哭之聲轟天振地官吏
出兵不死于鋒刃而死于焦頭爛額吁可痛
哉是朕所以撫心搥胸又所以摧時講和截
垢含瑕也雖和議已成安然無事然夷狄之
性反覆不恒唯利是視猶藏蜂蠆於懷袖養
虎狼於園庭卧榻之畔睡屢驚金甌之傷缺
已兆朕以菲德叨膺寶位二十年于茲矣不
自我先不自我後天降大戾遭荼毒詩不云
乎懲而忘之自今以後中夏雍熙之化當若

何夷狄綏御之術當如何汝民無賴陷利桀
亂桀犬吼竟之意猶未已當如何諸君悉心
而答勿有所忌勿有所隱朕虛襟以俟其對
焉

嘉永二己酉年五月五日新部屋下於伊
勢守殿備前守殿左之通里面々一御直渡
御書取

初座

同	御勘定奉行	同	町奉行	同	同	同	同	同	同	寺社奉行
池田播磨守	久須美佐渡守	牧野駿河守	遠山左衛門尉	太田攝津守	松平紀伊守	土屋米女正	本多中務大輔	脇坂淡路守		

117. 1959



嘉永五年壬子以爲壬子甲必丹封書和解

いふふんしんしん 封書和解

一 蕃教古書君長海山寺行 教書古書君長海山寺行 阿多港甲

必丹海山寺行

一 咬啗吃教番職之去年記差書力之印切之人職和
儀命令今之受出古書而以序以向之印切之在如臨
咬啗吃都督職之在如臨之印切之在如臨之

中一以爲壬子甲必丹封書和解
以安全之計策日印切之印切之印切之
之印切之印切之印切之印切之印切之
之印切之印切之印切之印切之印切之
之印切之印切之印切之印切之印切之
之印切之印切之印切之印切之印切之

右方... 全... 目... 日... 取... 以... 言... 乃... 古... 以... 其...

嘉永六年二月二日小田原大地震... 是... 光

一 沖天... 破内... 海... 古... 崩... 左... 日... 棟... 下... 入...

法界寺在蘇州府城內
古者今之地者身即同身
二月二十

山勢法寺行
山脈為寺行

光

一法界寺在蘇州府城內
古者今之地者身即同身
二月二十
山勢法寺行
山脈為寺行

下法界寺在蘇州府城內
古者今之地者身即同身
二月二十
山勢法寺行
山脈為寺行

二月

免

古属寺房

一 古属寺房之寺本曰中法寺房寺本一寺本在法隆寺本曰
中法寺房寺本在法隆寺本二寺本在法隆寺本一寺本在法隆寺本一
寺本在法隆寺本一寺本在法隆寺本一寺本在法隆寺本一

一 本寺中法寺房寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本
寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本

一 本寺中法寺房寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本
寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本

日修最寺本

古属寺房寺本

古属寺房寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本
寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本寺本在法隆寺本

寺本

所 寺

免

一 本寺千八百二十寺本

一 本寺千八百二十寺本

一 本寺千八百二十寺本

一 本寺千八百二十寺本

一 本寺千八百二十寺本

一 本寺千八百二十寺本

一 御本社御殿瓦葺換

大久寺

一本堂 御堂屋瓦葺換

西園寺

一 車室 中室 瓦葺換

桃源寺

心齋院

一 佛位牌

慈徳寺

一 法皇御所 瓦葺換

ノ

一 法皇御所 瓦葺換

西園寺

一 法皇御所 瓦葺換

前通 瓦葺換

古方 瓦葺換

二日

寺社

一 佛日者河社修葺 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

御堂 瓦葺換

一 法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

法皇御所 瓦葺換

右即分甲午人当所... 計... 佛... 法... 人
 后... 人... 人... 人... 人... 人... 人... 人... 人... 人...
 西... 人...

米...

...

合元...

右... 外... 中... 米... 食... 用... 罗... 及... 人... 人...

...

...

...

...

...

市... 人... 旅... 者... 元... 以... 檢... 之... 方... 四... 百... 元...
 但... 想... 之... 數... 之... 檢... 之... 人... 之... 百... 元... 人... 四... 百... 元... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...
 御... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...
 皇... 子... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...
 皇... 子... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...
 皇... 子... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...
 皇... 子... 之... 數... 之... 檢... 之... 人...

○丑年...

一...

一...

一...

...

...

...

右記所記
川西
書
湯
下西
南
沈
揚
揚

15

伊
新

新
南
南
南
南
南
南
南
南
南

新

永保六年十月十日
軍艦大十名

蒸氣船軍艦
一時の事兼多
此下段を

位

一 蒸気コルハット

五艘

一 コルハット

五六艘

一 蒸気船

二三艘

六 蒸気船
軍艦製造方
紅毛人

丑
十月

一 蒸気船雛形

武造

一 西洋兵器類に実用を採りて

一 海防自衛

三千挺

外に右の取扱又附付の事トドニルに掛りて

一 シケークラスホウユニ

船製作戦法を備へて善海國九千八百丁陸五年に

取船製作を了りて多岐を思ふ事

一 メタリーレカルコンナリー

一 トルベトレノ事也洋子記を以て

右の通り御用申事本言本取後より紅毛人にて中洲
尤右の外に千八百丁陸五年以後新製の大砲等亦
り取後より記す

三下ノ三ノ下ト也
カノシ

一 二十トイムモルキール

一 ステラモルキール

一 ハンドモルキール

一 十五トイム長ホウキール

一 プルーフモルキール

一 シユツベルバーカ

右ノ外に持後を以て

丑十月

蒸気船軍艦及び海防兵器類に取船後より取在りて
海防兵器等より七八船等を取後より記す

一 快カルコンナリー

一 三十九トイムモルキール

一 コーゲルモルキール

一 二十トイムホウキール

一 新製野戦砲

一 シケークラスモルキール

中船
五五丸五五ト

但三千石積信五五砲船也

五五ト船 三三船

但五砲船五五砲船三三砲船也

五五ト船 五五船

カノニ子一ルホト 五五船

但千石以上言五砲五五砲以上

五五船 五三船

但積五石五五五五ト

右五五砲船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

但五五砲船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

但五五砲船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船
一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船
一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船
一五五ト船五五砲船五五砲船五五砲船

石州 加古川 加古川

加古川

加古川

加古川

加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件
加州領錢屋五五番一件

一 十一万五千三百三拾五石
一 五万三千三百七十石
一 二十七万五千五百余石
一 三万五千七百石
一 八万五千三百石
一 四万四千石
一 五万三千石
一 二万五千石
一 一万五千石
一 一万石
一 五千石
一 三千石
一 二千石
一 一千石
一 五百石
一 三百石
一 二百石
一 一百石
一 五十石
一 二十石
一 十石
一 五石
一 二石
一 一石

一 一十五万石積
一 一十萬石積
一 八萬石積
一 六萬石積
一 四萬石積
一 二萬石積
一 一萬石積
一 五千石積
一 二千石積
一 一千石積
一 五百石積
一 三百石積
一 二百石積
一 一百石積
一 五十石積
一 二十石積
一 十石積
一 五石積
一 二石積
一 一石積

古通以在

年死

日米多志

本人

将

兵男

三男

五名積

六名積

八名積

由二名

浅草神社境内に在る石

佐倉保徳寺

満七

日吉川河川事務所

曲物職海防

表

当世三月廿七日... 浅草神社境内... 日吉川河川事務所... 曲物職海防... 表

任所... 根府川石... 鯉霊塚... 表

根府川石

鯉霊塚



表

嘉永六癸丑三月

志

下駄屋万五郎

曲物屋庄五郎

右臨... 換... 造... 河... 之... 福... 祥... 乘...
現... 作... 任... 任... 任... 任... 任... 任...
月... 日... 七... 月... 葬... 地... 葬... 葬... 葬... 葬... 葬...
已... 知... 門... 任... 任... 任... 任... 任... 任...

十... 月... 廿... 日... 卯... 時... 刻... 刻... 刻... 刻...

大... 日... 廿... 日... 卯... 時... 刻... 刻... 刻... 刻...

服部文庫
117
1289
6



此... 年... 十... 月... 廿... 日... 卯... 時... 刻... 刻... 刻... 刻...
以... 此... 年... 十... 月... 廿... 日... 卯... 時... 刻... 刻... 刻... 刻...

子... 國... 所... 存... 海... 東... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島...
諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島...

諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島... 諸... 島...

公... 儀... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節...

公... 儀... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節...

公... 儀... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節...

公... 儀... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節... 禮... 節...

6.7.10

世運多作向未廣也其古振會准一極別
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
厚之之也其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也

七

七

六

其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也
其後亦有以爲法所法之此能之局極一也

七

武藝然有古之武術者其為一物也其法亦
或此方古法也其試者其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦

古法也

古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦

大目也

武術然有古之武術者其為一物也其法亦
或此方古法也其試者其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦
古法也其法亦古法也其法亦古法也其法亦

古くは... 十月

十月



一 上... 牧野... 後

私願... 北... 去月... 船... 舟... 運上... 比...

服部文庫 117

松川里之海海之小蝦夷地之海軍の
書自之致是之海軍の左之
之之之難及水之比之村之
之之海軍の海軍の海軍の
之之海軍の海軍の海軍の

十月廿二日

117 1559

松平誠在

相摸國内海軍の進出は向ふ積港の
各海軍の海軍細川誠在の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の
之海軍の海軍の海軍の海軍の

嘉永七年三月

- 一 十四日夕七時以^{（房外）}多船白子沖十里船^{忍板下島}之由
- 一 同日初八浦吹之候是船来入り由 ^{（房外）}
- 一 十日午後七時以^{（房外）}金船沖入り由 ^{（房外）}
- 一 浦吹入りより向^{（房外）}北の島國船指船沖入り由一船を
浮仲^{（房外）}一里北の島入碇と仰^{（房外）}し一重堂利加船一振り
及^{（房外）}北の島指船の回付^{（房外）}並に並行
- 一 是れを^{（房外）}承^{（房外）}取^{（房外）}法^{（房外）}度^{（房外）}止^{（房外）}り^{（房外）}向^{（房外）}沖^{（房外）}之^{（房外）}島^{（房外）}國^{（房外）}船^{（房外）}或^{（房外）}は
十^{（房外）}艘^{（房外）}指^{（房外）}船^{（房外）}向^{（房外）}し^{（房外）}向^{（房外）}入り^{（房外）}又^{（房外）}三^{（房外）}艘^{（房外）}指^{（房外）}船^{（房外）}向^{（房外）}し
向^{（房外）}入り^{（房外）}由^{（房外）}を^{（房外）}分^{（房外）}け^{（房外）}り^{（房外）}又^{（房外）}三^{（房外）}艘^{（房外）}指^{（房外）}船^{（房外）}向^{（房外）}入り^{（房外）}
由^{（房外）}を^{（房外）}分^{（房外）}け^{（房外）}り^{（房外）}

- 一 十名又其後ハ人々以保科彦信ト船名トテ出立テ
 其ノ其ノ國々トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ由立
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ

一 伊左中ノ其ノ其ノ
 其ノ其ノ其ノ其ノ

- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
- 一 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ
 其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ其ノ其ノ船名トシテ

一 出法仍不增去之元中之人法也其法之要在于此也
 古之通人法之有也其法之要在于此也

光

一 言國語中而此法行極多書中少者其法之要
 在于此也其法之要在于此也其法之要在于此也
 其法之要在于此也其法之要在于此也其法之要在于此也
 其法之要在于此也其法之要在于此也其法之要在于此也

副紙

一 像字 金欄肩衣 小衫 靴子 短靴 膝布

深字皮

軍書卷

一 喉輪也其法之要在于此也 或林原以

一 體之不長一之短也其法之要在于此也 軍用記

一 喉輪有輪紐之法其法之要在于此也 今代之要記

一 喉輪斗其法之要在于此也其法之要在于此也
 是之也其法之要在于此也其法之要在于此也

小子喉輪有 柳原之要記

一 短指小子需而喉輪 或記

古之通人法之有也其法之要在于此也

書中
 其法之要在于此也
 其法之要在于此也

在牧鼻園

十二天之鼻

急逢人取津客

物以 故能即

法地 五移了

副以 其人

寺安人取津客

為既 有共法即

祖下 物士 以十五人

物以 祖 其人

副以 其人

以以 其人

安以 其人

八王子鼻

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

右雜兵營子百人 陸軍學士

北雜兵營子百人 陸軍學士

步兵

步兵

步兵

步兵

副官

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

步兵

右雜兵營子百人 陸軍學士

右雜兵營子百人 陸軍學士

全子山兵大筒掛列之重砲

右之介外事方助方之助方乃有六拾七人仕
於合一千以上之役人仕
津野大津津守

津介

長岡 監物

手勢我主三人騎言七騎雜兵取拾人

備取

三河 永三

手勢七拾人仕

同ノ人但為取

4石 松山権三郎
4石 長岡経太郎

手勢方ノ人仕

物取 七人

戦士 未取分

小取跡守行

3石 沼田 劫方

大石園方

九人

手勢池守主人ノ人仕

知事行

3石 木下 伊織

惣人数三千人ノ手勢



舟中記 十月五日 吾泊船 泊船 門 門 門 門

蓬萊船 甲船 乙船 丙船 丁船 戊船 己船 庚船 辛船 壬船 癸船 甲船 乙船 丙船 丁船 戊船 己船 庚船 辛船 壬船 癸船

仍

一 蓬萊船

一 コルハット

一 蓬萊船

十月五日 甲船 乙船 丙船 丁船 戊船 己船 庚船 辛船 壬船 癸船

服部文庫 117 1992 1229

一 蒸氣船能成
 一 西洋書院の書目下五冊あり
 一 切りの書 三千冊
 一 外又角材板受の油付の多きドニ仕物あり
 一 シケールカフスホウユニ
 船製作の法を傳へし書海國九千八百五十年
 板紙製作の多き多油を返り書
 一 メターレカルコニナリー
 一 トルベトシニ事を書し記す書
 一 一ノ内用書事書年抄録の紙を今日下御書
 一 一ノ外に千分の法を以て後新製を以て記す
 一 一ノ海取の御書

三下三刊業下

- 一 カノシ
 - 一 二十トムモルキル
 - 一 スラマモルキル
 - 一 ニドモルキル
 - 一 十五トム長おウケル
 - 一 フルーフモルキル
 - 一 三ツハハカ
- 右の如く抄録する事
- 一 一ノカルコニナリー
 - 一 一ノ九トムモルキル
 - 一 一ノゲルモルキル
 - 一 一ノ二十トムホウノ山ス
 - 一 一ノ新製野戦の御書
 - 一 一ノ三ツハスモルキル

蒸氣船の御書ありて其の如く抄録する事
 西洋書院の書目下五冊ありて其の如く抄録する事

中一彼
並氣コソコト

但三ノ及後位三ノ位也

コソコト船 三ノ彼

但右位也或位三ノ位也

フリウキ船 三ノ彼

但十五位也

カニ子一朱一ト 三ノ彼

但平方也言七位也

並氣船 三ノ彼

但位也言平方位也

今ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

但位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

但位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

一船ノ位也言平方位也

似土者之出治止者之貴之也其少刻功好之好子
一身元輝改之者之貴之也其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 古者至其主之為江運用方其也其少刻功好之好子
不可不文蓋其可體其重之也其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
位其少刻功好之好子

一 世曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

一 聖曰用方其好之好子其少刻功好之好子
其少刻功好之好子

北の船は... 北の船は...

加... 加... 加...

嘉永七年三月

- 一 十男又七女... 十男又七女...
- 一 同日... 同日...
- 一 十男... 十男...
- 一 海軍... 海軍...
- 一 内務... 内務...
- 一 在外... 在外...
- 一 十艘... 十艘...
- 一 方... 方...
- 一 未... 未...

- 一 十方夕々甚廣十金更反位何産后也船是也出所
 出所之其甚廣十金更反位何産后也船是也出所
 出所之其甚廣十金更反位何産后也船是也出所
- 一 船係在係系三三三三三三三三三三三三三三三三
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
- 一 船係在係系三三三三三三三三三三三三三三三三
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

一所兼申 下位信
 一 金受

- 一 國和由所之其甚廣十金更反位何産后也船是也出所
 出所之其甚廣十金更反位何産后也船是也出所
- 一 船係在係系三三三三三三三三三三三三三三三三
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
- 一 船係在係系三三三三三三三三三三三三三三三三
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

一 出此物不坊古之者中之人談定是者其子而子
右通之於後方乃之於前之也其子定
西之十

光

一 三國紅海事而此法乃據上名書中少者之成法
今存之於後方乃之於前之也其子定
製作之於下定之難於求也其子定
是之定之也其子定之也其子定之也

列成

十年

一 像法 金剛經 小經 觀音 經 佛 經

深學

軍法

一 惟編之也 左之少者之也 武林經

一 惟編之也 左之少者之也 軍用記

一 惟編之也 左之少者之也 武林經

一 惟編之也 左之少者之也 軍用記

一 惟編之也 左之少者之也 武林經

一 惟編之也 左之少者之也 軍用記

一 惟編之也 左之少者之也 武林經

一 惟編之也 左之少者之也 軍用記

一 惟編之也 左之少者之也 武林經

詳



